MCS (メディカルケアステー ション) の活用について



佐伯市 高齢者福祉課

MCSってどんなもの?

少しの変化が継続することで入院へ…







畑仕事をして元気そうだけ ど…息上がりしているみた

むくみもあるみたいだわ

また入院にならなければいいな…

受けたケアマネは…後日、ヘルパーから報告を

担当ケアマネ



多職種との連携にMCSを活用してみよう!









~MCSを活用した多職種連携の実例~

家族が、人工肛門のパウチ交換について不安が強いことを受診の時に主治医に相談。

地域連携室経由で、本人と妻にストマの管理について支援を依頼される。

人工肛門の接着部などが外れている様子を、デイサービスでの入浴 時に撮影してもらい、画像を病院・各事業所・ケアマネで共有。 症状の説明が 画像で共有

皮膚状態の確認とパウチのタイプを変更したところ、外れにくいことを写真で共有。

転倒もあったため、外傷部分の写真も共有。

本人さんの状況を共通理解

その後、皮膚トラブルの回数が減る。

パウチ交換の回数が多いのは変わらないが、ツーピース・ワンピース2種類を使用し、在庫不足による影響を防ぐように病院(主治医と連携室)と訪問看護、ケアマネなど支援者がMCSで会話する(共有)。

効果!!

不安要素も共有して備え。

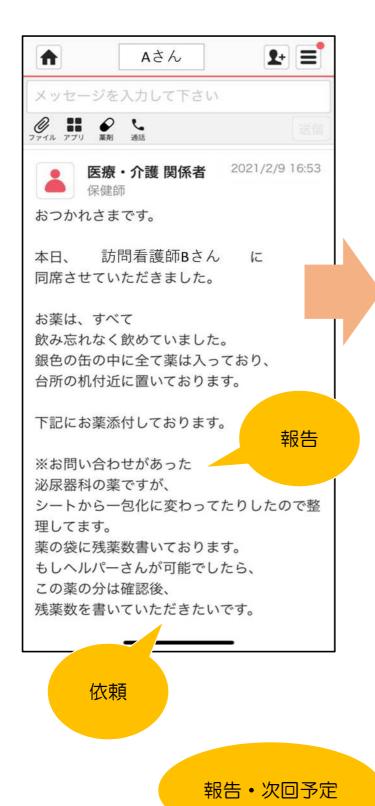
その後も転倒の報告などデイサービスやショートステイからも**経過報告**有り。

コミュニ ケーション

効率アップ。 電話件数減少。

次ページは、MCSを活用し心不全のある患者を対応した実際のやりとりです。

※ 通常は新しい投稿が上にくるように表示されます。 流れがわかりやすいように、時系列順に表示しています。





訪問看護師B

/3/19 16:52

訪問看護ステーションABC

お世話になります。

本日 訪問看護師cが訪問したので 報告させて頂 きます。

3/15 南海受診 次回4/12予定

136.3°C P56回/分 BD86/48mmHg

SPO 2 98%...



4日訪問時はお孫さんが来られていました。 バイタルはBD120/62mmHg、P52回/分、 SPO2=97%、体重58kgでした。胸部症状 なく両下腿浮腫は変わらずあります。 よくお願い致します。

Aさんの様子 (画像)



担当ケアマネD

1/6

居宅介護支援事業所SAKURA

先ほどご家族より連絡が入り、Aさん は入 院となりました。

1 ケ月の予定です。今回はじっくり治療して 退院の予定です。今後在宅での一人暮らし の継続も子供されたそうで相談をするよう主治医 に言われたそうで

落ち着いたら認知直しも検討予定です。

1 ○ 1人 ○ 返信

具体的な様子を画像で 共有し報告が可能

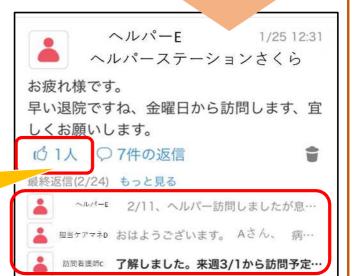


よろしくお願いします。 ⑥ 1人 ○ 13件の返信

最終返信(2/14) もっと見る

入院の情報も一括で 報告可能

了解ボタンや コメントで反応して 確認したことを提示



Aさんは治療を終えて退院・・・

退院と同時に、MCSを活用することにして、病院(地域連携室)、ケアマネ、訪問看護師、訪問リハビリ、ヘルパーステーションが連携することができました。また、日頃から忙しいキーパーソンと各専門職も連絡を取ることができやすくなり、家族の安心にもつながりました。



~医療介護の中で情報が共有されて、そのネットワークの中で 見守ってもらって安心した生活を送れるAさんでした~

●ぜひ皆さんもMCSを有効に活用してみましょう●

MCS (メディカルケアステーション)

佐伯市は、住み慣れた地域で、幸せや生きがいを持ちながら自分が望む場所で自分らしく暮らすために、切れ目のない在宅医療と介護の提供、地域包括ケアシステムを構築・推進に向けて取り 組んでいます。

在宅医療介護連携推進部会では、ICTを活用した多職種連携のための情報共有ツールの I つとして、医療介護専用の非公開型SNS「MCS(メディカルケアステーション)」を導入し、安全で適切な利用が図れるよう、市独自の運用ポリシーを定めてご活用いただいています。

地域における在宅医療介護に携わる多職種の情報共有と連携を推進するために、是非ご活用ください。

※MCS(メディカルケアステーション)は、エンブレース株式会社が提供するサービスです。



みる

☑本人の様子が時系列に リアルタイムで

☑画像や動画(制限あり)

☑多職種の連携が つながる、ひろがる

地域包括ケア システム

伝える

ひろがる

つながる

☑本人の家族や支援者と☑1対1でも、グループでも

MCSの使い方ルール



急変時や緊急連絡には、原則として電話等で直接連絡しましょう



一日I回は、MCSを確認しましょう



投稿を確認した場合は、「了解」ボタンを押しましょう



対象者や利用者の個人情報を取り扱う場合は、患者グループを作成しましょう



MCSで共有する範囲、コメント記載ルール等、患者グループの具体的な使い方に

関しては、参加者の間で事前に取り決めをしておきましょう



連携促進のため、プロフィールや顔写真を登録しましょう